

せかいはともだち

～日本からアジア、そして世界を歌おう～

川西市立けやき坂小学校 田中千晶

- 1, 実践教科 音楽・道徳・学級活動・生活
- 2, 時間数 45時間
- 3, 対象学年 1年生
- 4, 対象人数 56人
- 5, 実践の目的

○子どもたちの実態

1年生の子どもたちの多くは、サッカー・野球・バレーボール・シンクロ・フィギュアスケートなど、主にスポーツを通して世界の国や人について知っている。しかしながら、まだまだテレビなどで見たり聞いたりしたことがある段階である。

クラスには、メキシコと日本にルーツをもつ子どもがいる。学年では、1学期にフィンランドと日本にルーツをもつ子どもが体験入学していた。学校全体を見ると、韓国・朝鮮、中国にルーツをもつ子ども、「在日」の子どもたちも在籍している。

○教材について

今回、自分たちと同じ「子ども」に焦点をあて、アジアの歌・遊びなどを取り上げた。子どもたちにとって身近で興味をもてそうなものから導入したり、スリランカで出会った人々のこと・感じたことなどを伝えたりして学習を進めていきたい。その際、映像や音源を使い、みて、きいて、心で感じることを大切にしたい。

中でも、今年は2年に1度の音楽会の年で、音楽（歌）を中心とした表現活動を考えた。音楽のもつ力は、言葉や国境をこえてつながることのできる、すばらしいものだ実感している。そこで、子どもたちが親しみやすい歌、伝えたいメッセージがわかりやすい歌を選び、うち1曲はメキシコの人々の母語であるスペイン語の歌を取り入れた。

○指導にあたって

友だちと出会い仲よくなるのと同じで、まずはアジア、さらには広い世界について知ることから学習を始めた。体験を通して学ぶ中で、子どもたちは日本とのつながりを感じたり、さまざまな「違い」に気づいたりするだろう。私たちは日々、見える違い・見えない違い、いろいろな「違い」の中を生きている。多文化を知ること、「違い」を豊かに感じてほしいと思う。また、世界の中のアジア、アジアの中の日本という視点から、世界を見つめるとともに、世界の現状を子どもたちに伝えたい。世界を知ることとは日本を知ること、さらには自分自身を知ることである。「違い」を認め、多様性を受け入れることのできる、柔軟な感覚をもった子どもに成長してほしいと願っている。

6. 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1～2時限 みんななかま ～いろいろな人がいるよ～ ～いろいろな国があるよ～	フォトランゲージをして、思ったことを発表しあう。 知っている国の名前を出し合い、大陸の名前とだいたいの位置関係を知る。	世界文化フォト(写真) 世界地図・地球儀
3～4時限 自己紹介タイム みなさん、こんにちは ～世界のあいさつ～	「こんにちは」と、一言自己紹介をする。 世界のあいさつを知り、文化の多様性に気づく。	『世界のあいさつ』
5～7時限 アジアのじゃんけんぼん アジアのあそび歌 アジアのあそび	日本、韓国・朝鮮、中国のじゃんけんを知り、体験する。 日本の『おちゃらか』と、韓国・朝鮮の『モリオッケ』を歌う。 中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンの遊びを知り、日本とのつながりに気づく。	川西市人権学習副読本『いのち』 アジアの地図 ビデオ『世界の遊び』
8～10時限 スリランカって？ スリランカの言葉 スリランカの歌	スリランカボックスなどで、スリランカを感じる。 シンハラ語のあいさつや、シンハラ語の文字を知る。 歌『コリガハヤタ』(『オブラディ・オブラダ』)を歌う。	写真データ スリランカの地図など シンハラの本(児童用) CD・ビデオ
11～18時限 世界へ出発！ ヨーロッパの歌 アフリカの歌 オセアニアの歌	世界白地図に色ぬりして、国の場所を知る。 イタリアの『フニクリ・フニクラ』を歌う。 ドイツの『よろこびのうた』をけんぱんハーモニカで練習する。 ガーナの『チェツェツコリ』を歌う。 ニュージーランドの『ほうこうぱればれ』を歌う。	世界白地図 絵本3冊 CD・楽譜 教科書 教科書

南アメリカの歌	アルゼンチンの『はなまつり』(スペイン語)を、ケーナの音色とともに聴き、歌う。	CD (ケーナ)
北アメリカの歌	『星に願いを』(ディズニー)を歌う。	ビデオ
19～21時限 日本の歌	『せかいじゅうの子どもたちが』を歌う。 『きみとぼくの間』を手話で歌う。	CD・楽譜
どんな世界になってほしい?	みんなで願いごとを考え、音楽会のセリフをつくる。	音楽会のシナリオ
22～31時限 音楽会の練習	「せかいはともだち」の歌やセリフなどの通し練習をする。	シナリオ・楽譜
32～34時限 音楽会を楽しもう ～世界を歌おう～	「せかいはともだち」の発表と、『ソーラン節』・『アフリカンシンフォニー』・『ボレロ』などの曲を聴く。	
35～37時限 世界がもし56人の村だったら ～けやき小1年生バージョン～	『世界がもし100人の村だったら』を体験して、世界の現実を知り、自分たちにできることを考える。	『世界がもし100人の村だったら』ワークショップ版
世界の人々・世界の子どもたち	写真やビデオをみて、多様な文化・「違い」の豊かさを感じる。	写真・ビデオ
38～39時限 あそびランド	2年生と一緒に、アジアの歌や遊びを楽しむ。	遊びグッズ
40～41時限 世界と出会おう	中南米(メキシコ・ブラジル)で生活されていた方々のお話をきく。	写真など
42～43時限 日本の昔からのあそび	こままわし名人(ゲストティーチャー)と出会い、世界のこまを体験する。	世界のこま 日本のこま
44～45時限 わたしボックス	わたしボックスをつくる中で、自分にとって大切なものを考え、自分自身に気づく。	